

農村振興局長賞（被害防止部門（団体））

平成26年度からの3年間、集落の全世帯が参加し、集落内の水田約11.9ha、総延長約9kmに及びワイヤーメッシュ柵を設置。イノシシによる農作物への被害は平成30年度からはほぼゼロで推移。

あまくさしほうばるしゅうらくきょうてい

天草市方原集落協定

（会長：森下 ^{もりした} 雅成 ^{まさなり}）

くまもとけんあまくさし

熊本県天草市

主な取組

- 集落内の防護柵を3ブロックの9班に分け、それぞれに班長を任命し、柵に顔写真を載せた管理表を掲載することで、責任をもって管理。
- ワイヤーメッシュ柵の地際からの侵入を防ぐため、ハウスのパイプ廃材を再利用した補強を行っているほか、利便性を考慮し、全ほ場の出入口にパイプと鉄筋を組み合わせた開閉口を設置。
- 県内の他地域への取組みの普及に協力できる指導的集落として令和元年度に「熊本県鳥獣被害マイスター集落」として県から認定。県内各地域から視察を受け入れ、集落の取組を他地域に横展開。
- 防護柵の点検・管理の際、破損箇所や侵入箇所を見つけた場合は、ただちにブロック代表者会議を開催し、即日、遅くとも翌日には補修作業を実施。
- もともと盛んであった集落内のコミュニケーションが、イノシシ対策により、さらに高まり集落内に強い連帯感を生んでいるほか、地区住民が、防護柵の点検・管理、農地周辺の環境整備などを自主的に実施。

【被害金額（方原地区）：約90万円（取組開始前）→ ほぼ0（平成30年度以降）】